

立山黒部アルペンルート入り込み客数 (平成16年4～9月：立山～扇沢間)

平成16年4月10日～9月30日の、立山黒部アルペンルートへの入り込み客数は、837,371人(前年同期比95%、貸切バスを含む)でした。

今シーズンの立山黒部アルペンルートは、昨年同様富山側(立山～弥陀ヶ原)、大町側(信濃大町～室堂)それぞれ4月10日より部分開通し、全線開通につきましては、昨年より更に3日間早い4月17日となりました。

入り込み客数は、雪の大谷イベントの延長展開などで好調なスタートとなりましたが、夏以降はオリンピック開催による出控えや、酷暑と異常な台風上陸による全国的な天候不順などが影響し、現在低調に推移いたしております。

合併委員会の設置並びに進捗状況

- (1) 平成16年6月29日付で締結した立山黒部貫光(株)と立山開発鉄道(株)(以下「両社」という。)との合併覚書に基づき、両社の代表取締役からなる合併委員会を同日付で発足いたしました。
- (2) 委員会の協議機関として、両社の担当取締役で構成する合併推進会議を、同じく同日付で発足いたしました。
- (3) 合併委員会の実務組織として、両社の担当役職員で構成する合併推進本部を同じく同日付で発足し、その組織として企画班、総務班、経理班を設けました。これらの組織は、両社の合併を円滑に達成するため、現在鋭意、合併事務を推進しています。
- (4) 現在までの進捗状況
 - ア．平成17年10月1日合併を目途とした合併スケジュールの策定
 - イ．両社の合併を前提とした、平成17年度営業再開時から実施の両社共通株主優待制度の創設
 - ウ．両社の諸規程等の見直し、合併後の組織について検討

なお、現時点におきましては、その後合併の支障となる問題点はないものと考えています。

株主優待制度の創設について

- (1) 立山黒部貫光(株)と立山開発鉄道(株)の合併を前提に、立山黒部アルペンルート内の両社の交通機関が利用出来る、両社共通の平成17年度株主優待制度を創設し、平成17年3月末日の株主名簿に記載された両社の株主に、営業再開時までに別途基準により、優待乗車券・優待乗車証を交付し、平成17年度シーズン中にご利用いただきたいと考えています。
- (2) この株主優待制度は、あくまでも両社株主にそれぞれ会社の業務内容に理解を深めていただくことを目的として創設したものです。
- (3) また、合併前においても両社の株主に立山黒部アルペンルートに理解を深めていただき、両社の合併が円滑に推進できることを目的としています。
- (4) 新たな株主優待制度は、下記のとおりです。

新株主優待制度

立山黒部貫光(株)並びに立山開発鉄道(株)の、平成17年3月末日の株主名簿に記載された株主の皆様へ、所有株式数に応じ次の基準により株主優待乗車券並びに株主優待乗車証を発行いたします。

【優待基準】

ご所有株式数	優待乗車券・優待乗車証	通用区間	発行枚数
100株 ~ 150株未満	優待乗車券(片道)	立山~室堂	2枚
150株 ~ 300株未満	優待乗車券(片道)	立山~室堂	3枚
300株 ~ 400株未満	優待乗車券(片道) 優待乗車券(片道)	立山~室堂 立山~黒部湖	1枚 2枚
400株 ~ 600株未満	優待乗車券(片道)	立山~黒部湖	4枚
600株 ~ 800株未満	優待乗車券(片道)	立山~黒部湖	6枚
800株 ~ 1,000株未満	優待乗車券(片道)	立山~黒部湖	8枚
1,000株 ~ 2,000株未満	優待乗車券(片道)	立山~黒部湖	10枚
2,000株 ~ 3,000株未満	優待乗車券(片道)	立山~黒部湖	20枚
3,000株以上	優待乗車券(片道) 優待乗車証(記名式)	立山~黒部湖 立山~黒部湖	30枚 1枚

【優待有効期間】

平成17年度営業開始日から11月末日まで

【株主優待制度についてのお問い合わせ】

立山黒部貫光株式会社 総務部 総務課 TEL 076-441-3331

立山開発鉄道株式会社 総務部 総務課 TEL 076-432-8535

(平日午前9:00から午後5:00まで)